

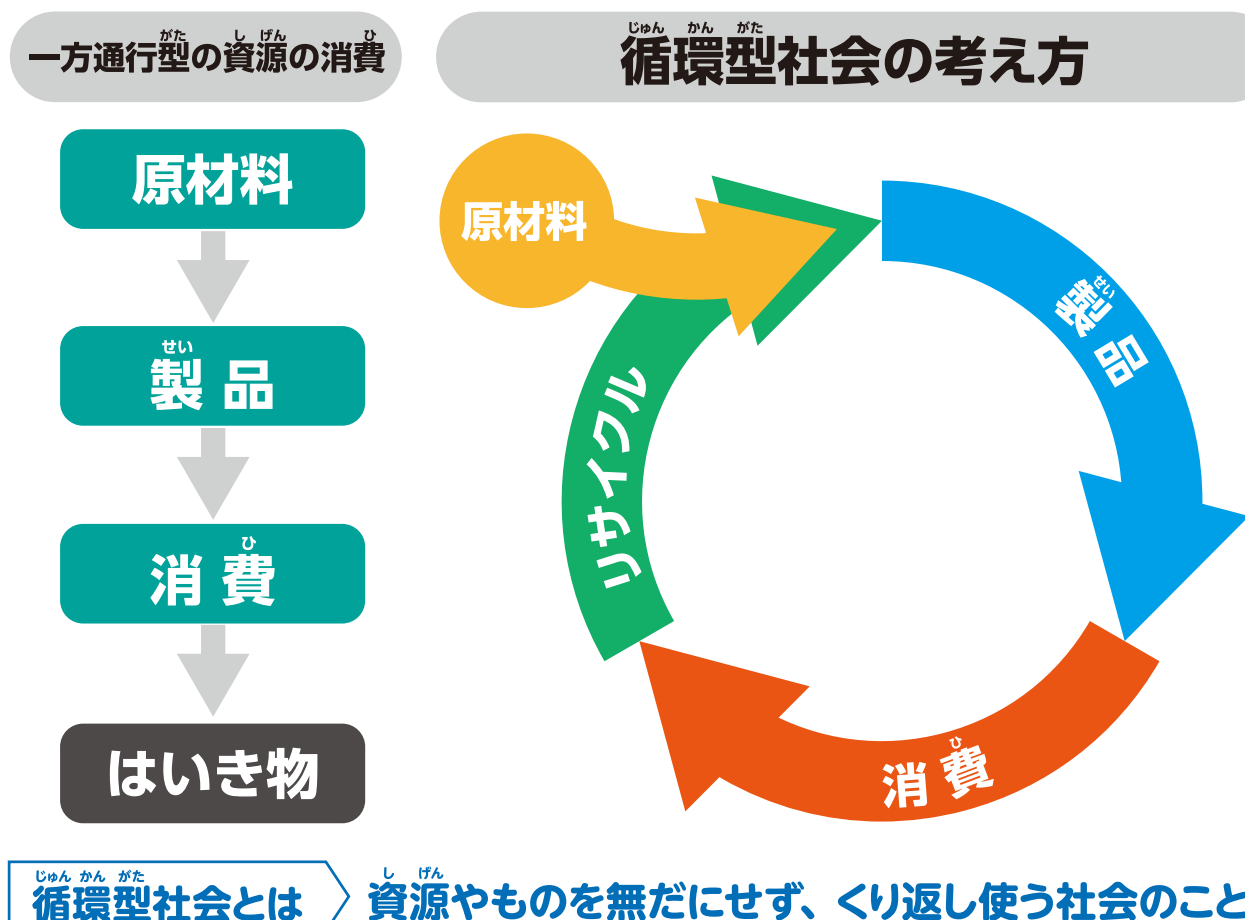
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～

循環型社会とカーボンハーフ

●循環型社会とは

わたしたちの社会では、地球上の資源を使って様々な製品を作っています。これまでは、大量に製品を作り、使い終わったらはいき物として処分してきました。このように、一方通行で資源を消費していくと、はいき物が増え、資源がなくなってしまいます。

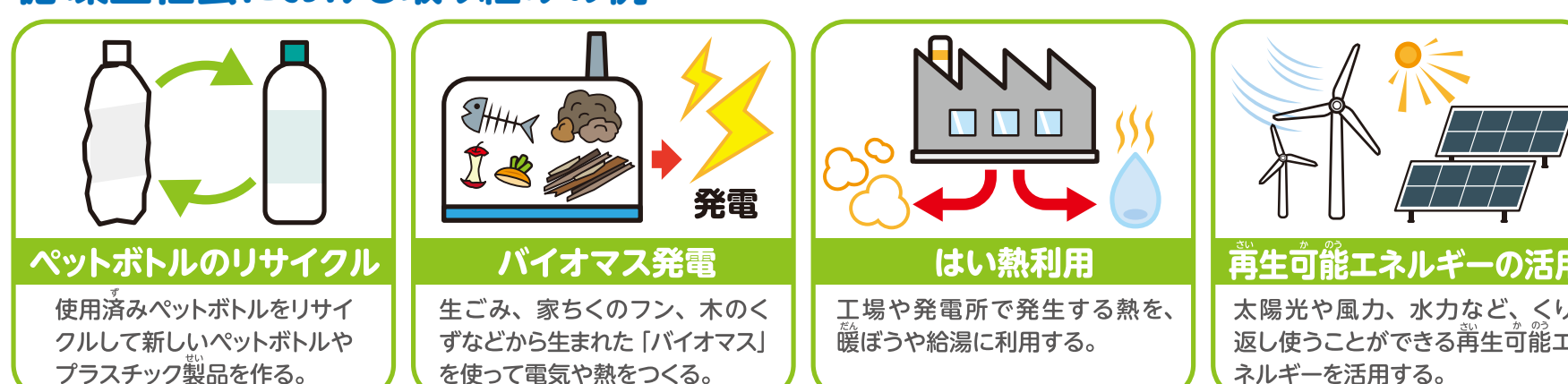
このような一方通行型の資源の消費ではなく、製品の再利用や、リサイクルなどによって、限りある資源を大切に使う社会が、循環型社会です。



●循環型社会と温室効果ガスのはい出量

循環型社会の実現は、地球温暖化対策とも深い関係があります。製品を作るときや、はいき物を処分するときには、二酸化炭素などの温室効果ガスがはい出されます。循環型社会を実現するための資源やエネルギーを循環させる取り組みは、温室効果ガスのはい出を減らすことにつながります。

循環型社会における取り組みの例

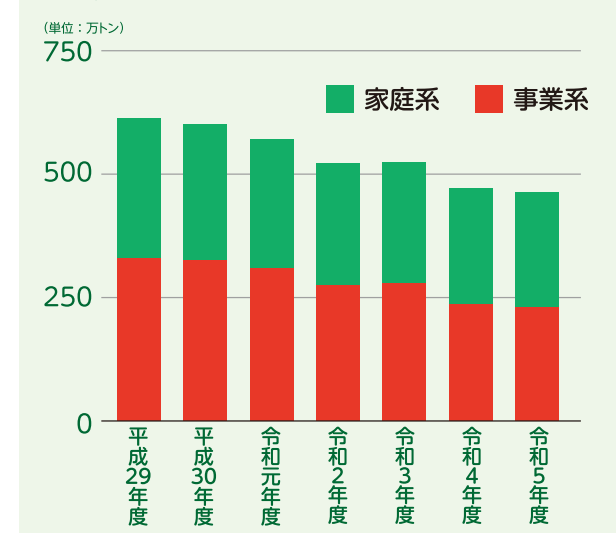


循環型社会は、地球に優しい社会ということもできるね。

●食品ロスを減らそう

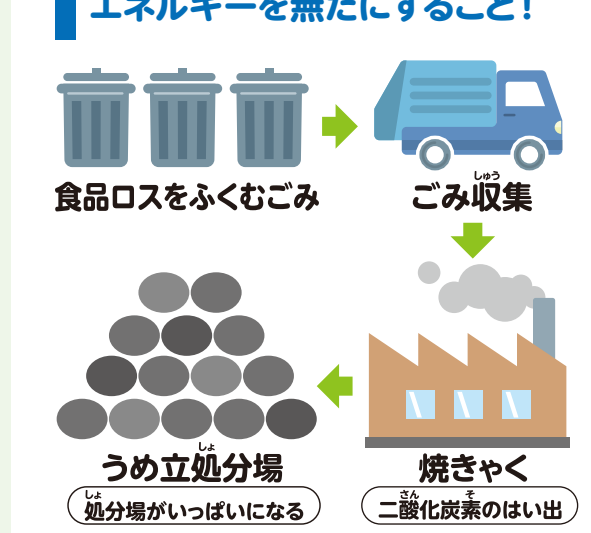
循環型社会の実現に向けた課題の一つが食品ロスです。食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことで、日本では毎日多くの食品が食べられずにはいきされ、ごみとなっています。

食品ロス量の推移グラフ



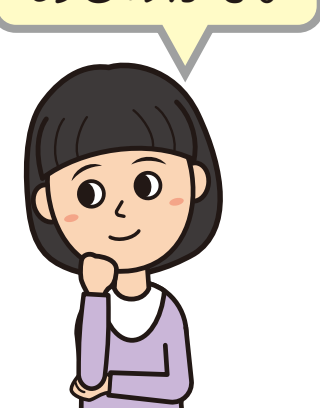
「我が国の食品ロスの発生量の推移」より作成
出典：環境省

食品を無だにすることは、資源やエネルギーを無だにすること!



「食品ロス削減ガイドブック」より作成
出典：消費者庁

食品ロスが多いとどのような問題があるのかな。

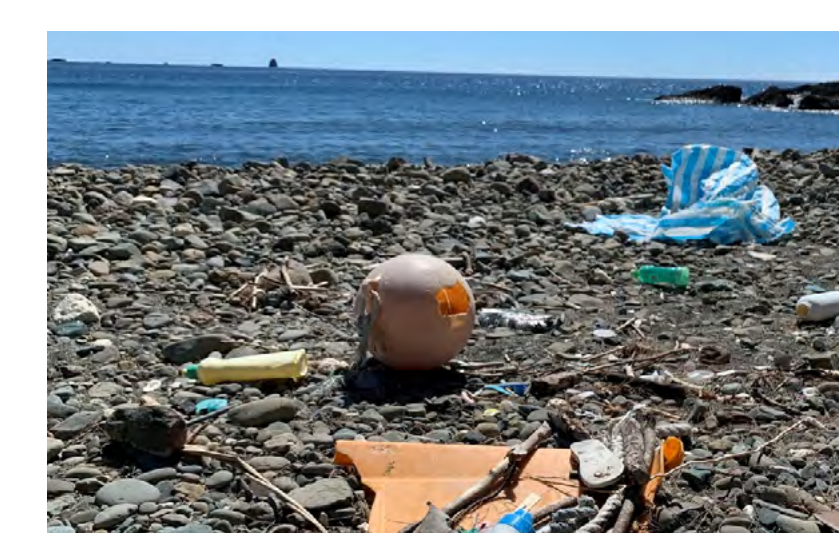


●深刻化するプラスチックごみの問題

軽量で色々な形や大きさに加工することができるプラスチックは、わたしたちの生活に欠かせないものである一方、深刻なかん境問題につながっています。

プラスチックごみの多くは焼きやく処理され、そのときに二酸化炭素がはい出されます。また、正しく処理されなかったプラスチックが海に流れ出し、海洋プラスチックごみとなって、海の生き物に悪い影響をあたえています。

このような問題を防ぐためには、社会全体でプラスチックごみを減らす工夫をすることが大切です。



海洋プラスチックごみ
出典：東京都環境局

●3Rに取り組もう

循環型社会を実現するためには、わたしたち一人一人が資源やものを無だにしないことが大切です。

ごみを減らし、地球の資源を大切にするための三つの取り組み「Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)」が3Rです。リサイクルするにはエネルギーを使うため、まずはごみを出さないようにすることが重要です。

3R スリーアール



最近、Renewable (リニューアブル)という言葉も使われているよ。どのような意味か調べてみよう。



考えてみよう・・・

今後、循環型社会を実現していくためには、どのような取り組みが必要となるか、考えてみましょう。



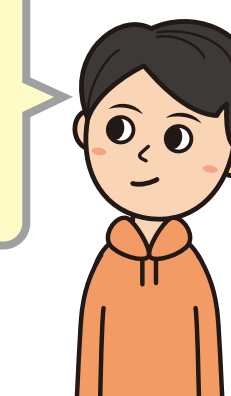
調べてみよう

東京食品ロス0(ゼロ)アクション



【東京都環境局】
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/tokyo_torikumi/promotion

食品ロスを減らすために、どのような取り組みが行われているか調べてみよう。

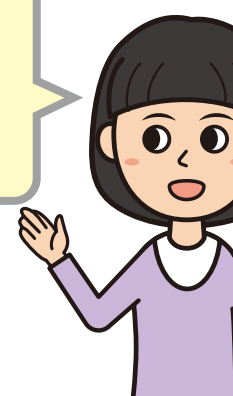


最近よく聞く「Renewable」って何?



【一般社団法人プラスチック循環利用協会】
<https://www.pwmi.jp/library/library-1692/>

「3R+Renewable (リニューアブル)」について調べよう。



HTT TokyoTokyo